

事業の基礎情報

実施主体	北海道美唄市
事業実施地域	美唄市 市街地
共創の類型	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉 ・ 観光・まちづくり
共創パートナー	社会福祉法人美唄市社会福協議会、一般社団法人ステイびばい、市内タクシー事業者(運行事業者)、予約・配車システム等構築事業者
運行形態	AIデマンドバス運行、道路運送法の許可(78条)
運行主体	美唄市

現状・課題

(地域交通の現状・課題に関する分析)

美唄市では地域公共交通として、市民バス東線・西線、南美唄線を運行しているが、人口減少や高齢者の免許保有率の進展に伴い、その利用者は大きく減少しており、現在の運行形態の持続が困難な状況にある。また、ドライバー不足への対応やコロナ禍以降、多様な生活スタイルが進む中で、持続可能な新しい公共交通ネットワークを構築する必要がある。中でも美唄駅周辺の市街地を運行する市民バス東線において、定時定路線(2路線22便)であるがゆえの利便性の低下及び利用者減少(年間利用者数：平成25年 75,833人→令和5年 52,031人)が交通課題に対して、各公共交通機関および関連機関と連携し、地域の移動ニーズに対応した効率的な交通ネットワークを構築することを目的とし、AIデマンドバスの実証運行を実施する。

地域公共交通計画への位置づけ
(位置づけ予定を含む)

有 (美唄市公共交通計画)

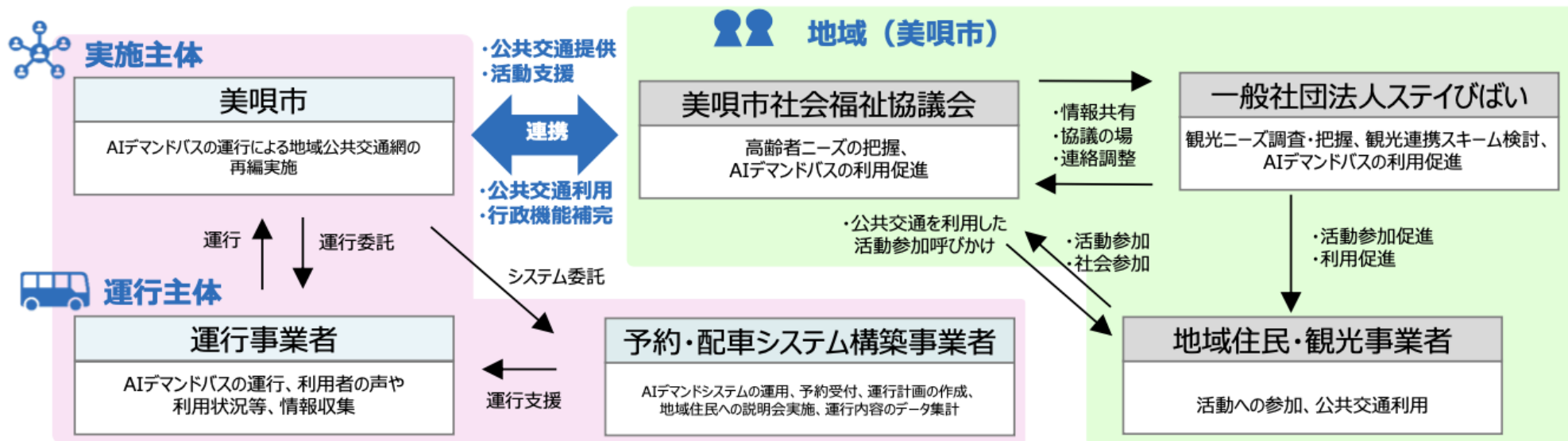
運輸局・運輸支局への事前相談

北海道運輸局札幌運輸支局

令和5年度共創モデル実証プロジェクトの補助有無

無

事業の全体像・共創の仕組み



取組の概要

(事業の概要)

美唄市は運行事業者及び予約・配車システム構築事業者と協働しAIデマンドバスの導入により地域公共交通網を再編し利便性の向上を図る。

住民の移動ニーズを分析し、定時定路線で充足できていない地点にも乗降地点を設置し、住民の移動したい時間に予約が可能な運行体系を構築していく。実証運行を通して、得られた実績、アンケートを元に次年度以降の本格運行に向けた計画を精緻化していく。

(地域の関係者との連携・協働)

他分野共創(福祉、観光)において、美唄市社会福祉協議会は健康づくりと介護予防のため、貯金体操等の集いの場への活用、一般社団法人ステイびばいは市内の様々な観光拠点の循環に活用し利用者のニーズを把握、AIデマンドバスの利用及び活動への参加促進。市は各事業者において企画・運営調整等、側面支援、住民への公共交通利用の広報周知も担う。

(地域公共交通ネットワークや既存交通との関係性)

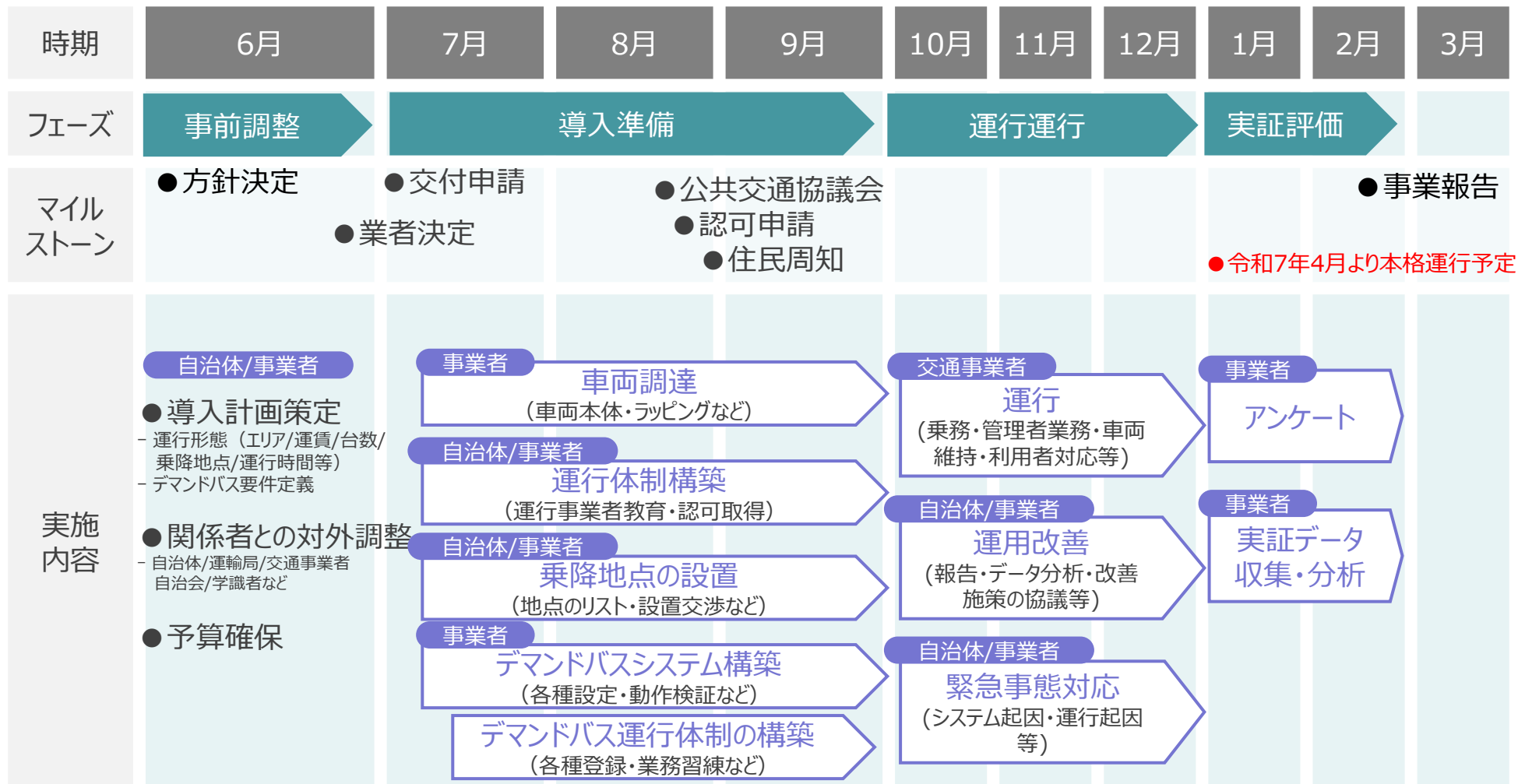
バス路線が重複しない効率的な公共交通の運行に取り組み、また郊外部では乗合タクシーと市民バス西線を運行するものの、公共交通空白地域の解消について、交通事業者等の状況を踏まえながら取り組んでいくことで、市民の生活交通を持続的に確保していく。

北海道美唄市AIデマンドバス実証運行共創プラットフォーム

応募様式A

(北海道美唄市AIデマンドバス実証運行共創プラットフォーム)

事業実施手順・スケジュール



取組の詳細

(地域交通にもたらされると想定される効果)

- ・AIデマンドバス運行の実証により、地域住民の利便性向上及び利用者の増加を目指す。
- ・本実証事業の効果を確認後、市内の公共交通体系を見直すことで、乗務員不足対策及び財政負担の軽減を図る。
- ・観光分野においては観光事業者連携を図ることで、市内観光地の周遊性向上を図り、美唄市の魅力向上を目指す。

(地域全体に及ぶと想定される効果)

- ・自宅近くから希望する時間に外出できることで外出機会が増え、健康増進に貢献するとともに地域でのコミュニケーションが活発する。
- ・高齢者によるマイカー移動を軽減し、運転免許証の返納を促進することで、公共交通の活発化や不採算の改善により公共サービスが充実し、魅力あるまちづくりを実現することが可能となる。

※特に以下の効果が想定される場合は、その項目に○をつけ（複数選択可）、当該内容について上記に具体的に記載してください。

☐	新たな移動手段の創出や各種送迎への地域住民の混乗などによる、地域住民の利便性向上		貨客混載や各種送迎の公共交通への集約など、交通事業者や地域の関係者の生産性向上
☐	乗降データを取得する等、データを活用して、事業検証ができる環境整備	☐	通院者や商業施設の利用者に関する情報など、他分野の移動需要に関するデータの利活用

(補助事業実施後の予定)

- ・地域交通/福祉/観光等多目的利用車両の活用においてAIデマンドバスを2台で運行することで、地域住民の利便性向上・観光地としての魅力向上・乗務員不足の解決に資する共創型プラットフォームとして、官民共創、他分野共創型のユーティリティ車両として持続可能な公共交通の導入を実現する。
- ・その他公共交通に関しても代替手段としてAIデマンドバスを導入・エリア拡張することで、将来的に市内全域において地域交通課題解決に資する共創プラットフォームを導入する。

資金面	本事業は、「共創・MaaS実証プロジェクト（実証運行事業）」を活用し、実施するものであり、事業採択後、補助対象外経費または補助金交付決定額を上回る経費については、本市の一般会計予算を充当する予定。
人材面（運転手の確保）	交通事業者による運転手の確保